

魚の城下町

みんなが主役のまち

9

2021

NO.308

町ホームページ



公式Facebook



公式Instagram



公式LINE



何もしなないを楽しむ。贅沢な空間。

羅臼町民スキー場に新たに作られたのは、4つのテントサイトを備えた知床羅臼野遊びフィールド。フィールドの上から見える羅臼の街並みや海の向こう側に眺める国後島。どれを切り取っても壮麗なその懐かしい景色が、季節を変えてまたここに誕生しました。

今月の主な話題

- 2 コロナ禍における羅臼町の商工観光経済対策
- 6 ハルスエック-新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ-
- 10 あしたへつながる防災知識

コロナ禍における羅臼町の商工観光経済対策

8月23日、町内の新型コロナウイルス感染症拡大により、「羅臼町まん延防止特別措置宣言」が発出されました。私たちの生活を「変えた新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の目途が立たず、町の経済にも大きな影響を与え続けています。令和2年度から現在まで、コロナ禍における町の商工観光分野における経済対策について振り返ります。

新型コロナウイルス感染拡大の始まり

令和2年1月28日に北海道で1例目となる新型コロナウイルス感染者が確認され、それ以降、感染者が全道各地に拡大した状況を踏まえ、北海道は2月28日に「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発表しました。その後、

4月7日には国が1都府5県に緊急事態宣言を行い、北海道もそれを受け、4月8日から5月6日まで「新型コロナウイルス感染症集中対策期間」としました。更に4月16日には新たに北海道を含む40道府県が緊急事態宣言を実施すべき区域として拡大され、翌17日に北海道における緊急事態措置が発表されました。

そうした状況から、羅臼町は感染予防に係る啓発活動に加え、北海道が緊急事態措置区域になったことに対応し、道の駅、公共施設の休止等による感染防止対策を講じました。

緊急事態宣言は5月31日まで延長されましたが、感染の状況から、結果的に国の緊急事態宣言及び北海道の緊急事態措置は5月25日で解除されております。

羅臼町の観光客の入り込み状況

度重なる緊急事態措置の発表とその対応により、観光繁忙期であった5月の連休など、観光客の激減は羅臼町の商工観光業に多大な影響を及ぼしました。観光客の減少傾向は令和2年度においてほぼ継続してみられ、令和元年度の観光客入り込み総数に対し、令和2年度は49%と半減しております（別表1）。外国人観光客においては、新規入国の停止措置もあり、令和元年度の1,700人の入り込みに対し、7人とほぼ皆無の状況となっております。

別表1：観光客の入込状況

月	R2年度入込数	R1年度入込数	比較	
4月	2,026人	15,527人	▲13,501人	13%
5月	2,867人	55,361人	▲52,494人	5%
6月	11,597人	56,516人	▲44,919人	21%
7月	31,980人	85,666人	▲53,686人	37%
8月	100,074人	162,139人	▲62,065人	62%
9月	47,854人	84,581人	▲36,727人	57%
10月	53,120人	61,270人	▲8,150人	87%
11月	6,928人	6,310人	▲618人	110%
12月	5,461人	6,065人	▲604人	90%
1月	2,066人	3,972人	▲1,906人	52%
2月	4,148人	7,912人	▲3,764人	52%
3月	1,172人	1,249人	▲77人	94%
合計	269,293人	546,568人	▲277,275人	49%

令和2年度の商工観光経済対策事業

新型コロナウイルス感染症の猛威が押し寄せたことによる観光客の減少は、商工観光業に大きなダメージを与えました。また、日本中の人々の生活が一変したことで、様々な分野の経済活動にも多大な影響を与えることになりました。ここからは令和2年度に実施した、羅臼町の経済対策事業を振り返ります。

羅臼町新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金事業

4月から5月にかけて、国の緊急事態宣言等により観光客が激減したことから、特に影響の大きかった飲食店事業者、宿泊事業者、観光事業者に対し、一律30万円の給付金を66事業所に交付しました。(予算措置…222,550千円)

水産物流通改善支援事業(知床らうす海鮮福箱)

新型コロナウイルス感染症のまん延は、水産物の流通にも影響を及ぼしました。商品の在庫を抱えてしまうことなどから、事業所支援と町民への生活支援として、「知床らうす海鮮福箱」の販売を実施しました。参加事業所を募り、商品の2割を負担いただき、3割を町が補助することで、1万円分の詰め合わせを5千円で販売するものです。町民への受け渡しは6月28日に密を避けるため、2階建て

漁港においてドライブスルー方式で行っています。その他、らうす会などにも周知し協力をいただきました。福箱は全体で1,000箱を用意しました。(予算措置…4,000千円)



▲実際に発行されたプレミアム付き商品券



▲感染予防対策補助金事業にて整備された消毒液

水道事業会計繰出事業

水道料金は令和2年度料金改定となりましたが、全用途の基本料金及び超過料金の増額分を、5月請求分から令和3年3月請求分まで減免しています。加えて、大量の水を使用する事業所の経済支援として、事業用水道料金については、減免した額から基本料金の70%及び超過料金の70%を減免しています。

プレミアム付き商品券等発行事業

町内消費の活性化と生活支援の取り組みとして、羅臼町商工会に全面協力をいただき、プレミアム付き商品券を発行しました。商品券はプレミアム率30%で、1次販売では1世帯3万円を上限として、2,103世帯に往復はがきで案内し、1,071世帯、約51%の購入がありました。

商品券の使用状況は、業種別で商業が1番多く、全体の75.9%で58,913,000円、2番目は燃料で11.5%、8,899,500円、3番目に飲食で4.8%、3,755,500円となっています。本事業を通して、飲食店や商店では商品券使用時にサービス等の特典を付与するなどの取り組みが見られ、また年末には商工会による歳末抽選会が開催されるなど、事業所と町民にとって有効な町内消費喚起事業となりました。(予算措置…20,000千円)

新型コロナウイルス感染症予防対策補助金事業

不特定多数の顧客に対し、商品販売、サービス等接客を行う事業者に、感染症の予防に関する衛生管理対策実施に必要な機械、器具、備品等物品の導入を補助金により支援しました。町内の感染症に対する感染予防体制を構築し、経営安定を図ることを目的とし、61事業所が本制度を活用し、飛沫防止パネルや消毒液自動噴霧器等を整備しています。(予算措置：7,520千円)

羅臼町水産物調整保管補助金事業

全体的な流通停滞に伴い、水産加工品の保管数量の増加や、預かり先の確保が困難になることが危惧されたことから、水産加工事業者への経済支援として、また、魚価の安定を図る目的で営業冷蔵倉庫への保管料及び出入庫量の補助を実施しました。(予算措置：23,000千円)

水産加工事業者経営安定対策支援事業

水産加工品の消費の落ち込みがみられたことから、事業経営の安定の一助となるよう、町内水産加工事業者に対し、一律50万円の支援金を交付しました。(予算措置：15,500千円)

収束の目途が立たない新型コロナウイルスの脅威

令和3年度を迎えても、新型コロナウイルス

感染症の勢いは止まらず、5月7日には国のまん延防止等重点措置区域に北海道が追加されました。

更に5月14日には国の緊急事態宣言対象地域に追加されたことから、全道域で人と人との接触を徹底的に抑えるための対策を講じるとともに、特に感染状況が厳しい札幌市等を特定措置区域に指定し、重点的な対策が講じられました。

羅臼町は措置区域に指定され、飲食店の営業が午前5時から午後8時まで、酒類の提供は午前11時から午後7時までの要請となりました。羅臼町独自の対応としては、観光繁忙期を迎えることから、人流の抑制を図るため、観光の拠点である道の駅の各事業者と観光船事業者に対し、当初5月22日から31日まで、更に延長して6月4日までの14日間わたる休業要請を行っています。北海道における緊急事態宣言は5月31日までとなりましたが、全国的な感染状況の悪化から、北海道における緊急事態措置が6月20日まで発出され、6月17日には国のまん延防止等重点措置区域に追加されています。

その後、羅臼町において感染者、濃厚接触者が多数確認されたことから、羅臼町まん延防止特別措置宣言を8月24日から9月12日までの期間で発出し、不要不急の外出自粛等感染予防対策を呼びかけるとともに、飲食店事業者に対し、期間中の酒類の終日提供停止と営業時間短縮を要請しました。

北海道においても、再度、国の緊急事態宣言対象地域に追加されたため、8月27日から9月12日までを緊急事態措置の期間としました。羅臼町は一般措置区域となっています。

令和3年度の商工観光経済対策事業

8月のお盆時に観光客の姿が多く見られたのも束の間、国、北海道の対策に加え、羅臼町独自の措置宣言などもあり、町内経済の動きは昨年度に引き続き大変厳しい状況となっています。令和3年度を迎えて約半年間の商工観光対策事業を振り返ります。

水道事業会計繰出事業

令和3年度の水道料金についても、引き続き、全用途の基本料金及び超過料金の増額分を、令和4年3月31日まで減免しています。事業用水道料金については、減免した額から基本料金及び超過料金について、50%を減免しています。

羅臼町新型コロナウイルス感染症対策休業要請等協力金

北海道の緊急事態措置により、感染予防対策として人流の抑制を図るために、観光の拠点である道の駅の事業者及び観光船事業者に対し、5月22日から5月31日までの10日間、休業要請を行いました。協力金は業種により1日1万円〜3万円を給付しています。休業要請は6月4日まで延長され、結果的に14日間となりました。

延長分の協力金は、2週間にわたる長期の休業要請となったことから、1日2万円から6万円を給付しています。【予算措置：5,180千円】

羅臼町新型コロナウイルス感染症対策臨時給付金【第2弾】

昨年度に引き続き、飲食業、宿泊業、観光業に対し、一律20万円の臨時給付金を第2弾の取り組みとして76件に実施しました。【予算措置…15,215千円】

プレミアム付き商品券等発行事業【第2弾】

プレミアム付き商品券事業も昨年度に引き続き2回目の取り組みを開始しています。昨年度プレミアム率は30%でしたが、北海道の補助事業も活用し、今回は50%のプレミアム率で販売しております。前回事業では新型コロナウイルス感染症の影響が大きい飲食業での商品券使用が少なかったことから、50%のプレミアム率のうち30%を商品券、20%を飲食券としています。また、事業を実施する商工会では、商品券事業を利用して、景品を用意した抽選会の実施が予定されています。【予算措置…37,000千円】

水産物流通改善支援事業 （知床らうす海鮮福箱【第2弾】）

経済支援の取り組みとして実施した福箱事業は、町民の生活支援としても効果的だったことから、令和2年度に引き続き実施しました。



▲知床らうす海鮮福箱の中身（例）



▲知床らうす海鮮福箱の受け渡しの様子

羅臼町まん延防止 特別措置宣言対応飲食店協力支援金

町内で多数の感染者が出たことから、羅臼町は独自に「羅臼町まん延防止特別措置宣言」を発出しました。特に感染リスクの高い外出先での飲食、飲酒を自粛いただくため、飲食店に対し酒類の終日提供停止と午後8時までの営業制限を要請し、要請に応じた飲食店には、営業形態により10万円又は20万円の協力支援金の給付を決めました。【予算措置…62,000千円】

知床羅臼地域クーポン券発行事業

観光閑散期を迎える時期の経済対策として観光協会が企画したクーポン券発行事業は、町内宿泊者に対し、3,000円のクーポン券を発行し、登録した商店や体験観光事業者で使用してもらうことで、経済支援に加え、羅臼町の観光PRをする取り組みで、8月20日から実施を予定していましたが、羅臼町まん延防止特別措置宣言を受け、事業を延期しています。【予算措置…20,000千円】

令和2年度から今までの町内商工観光業に対する経済支援を振り返りました。これらの事業は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当しており、コロナ対策として取り組まれる福祉分野、教育分野の他、様々な事業に活用されています。

1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、町内の経済対策に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ

～感染症流行の冬に向けて～

今年も感染症が流行する時期を迎えようとしていますが、新型コロナウイルス感染症の状況は第5波となり全国の感染者が第4波のピーク時の倍以上となっています。緊急事態宣言が21都道府県に拡大されるなど、収束が見えない状況が続いているようです。

そのような中で、季節的に流行するインフルエンザの予防接種が始まります。昨年はインフルエンザ流行の注意報や警報が出ることがなく、患者数が例年よりずいぶん少なかったようですが、前述のとおり新型コロナウイルス感染症の流行はおさまったとはいえません。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行すると、発熱などの症状だけでは鑑別が難しく、医療機関に大きな負担がかかります。すでに新型コロナウイルス感染症の対応で、医療機関には大きな負担がかかっています。この地域の特性を考えると、医療資源が非常に少ない地域ですから、医療崩壊が地域の崩壊にもつながりかねません。

昨年と同様に、対応策としてはインフルエンザの予防接種がまだまだ大切な位置づけになっています。羅臼町では毎年65歳以上の方には、インフルエンザワクチン接種の助成を行い、流行の防止に努めています。皆さんもワクチン接種の他、感染予防対策に努めていただきたいのですが、感染が避けられないこともあるかもしれません。少しでも症状があれば医療機関に相談し受診しましょう。また、日頃からの感染予防対策はもちろんですが、自分の体について知っておくことも重要です。新型コロナウイルス感染症では重症化しやすい人がいるといわれています。高血圧や糖尿病などは何の症状もなく進行するケースが多いので、自覚症状に頼ってはいけません。健康維持の第一歩です。

保健福祉課 TEL 87-2161



子育て情報ひろば～すくすく～

ありんこは 月～金
9:30～11:30まで
火・水・木は午後も開放!



先日、1歳未満のお子さんとその保護者の方を対象としたすくすく広場で、親子のふれあい遊びをおこないました！歌に合わせ子どもを動かしたり、マッサージやくすぐったり。子ども達はとっても気持ち良さそうでした。それと同じくらい、お母さん達も楽しそうで、そんな姿が子どもに良い影響を与えていると感じました。

次回もまたお待ちしております♪

♪10月・11月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場（0歳～3歳対象） ☆すくすく広場（1歳未満対象・妊婦さんの見学可） ☆のびのび広場（2歳～3歳対象）

10月1日(金) すくすく広場	10月4日(月) ママの日♪	10月6日(水) ありんこ広場	10月8日(金) かもめ号
10月13日(水) ありんこ広場	10月20日(水) ありんこ広場	10月27日(水) ありんこ広場	10月29日(金) のびのび広場
11月1日(月) ママの日♪	11月5日(金) すくすく広場	11月10日(水) ありんこ広場	11月11日(木) 絵本作り
11月17日(水) ありんこ広場	11月24日(水) ありんこ広場	11月26日(金) のびのび広場	11月29日(月) 計測

* 絵本作りは事前に申し込みが必要です。詳細は11月のありんこだよりにてご確認ください。

* 状況によっては中止になる場合があります。

* 毎週火・水・木曜日の13時～16時まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。

お問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 TEL88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

木島所長より Vol.9

今回はがん検診についてお話ししてみたいと思います。

肺癌については、タバコを1日20本20年喫煙したことのある禁煙15年未満の方に対して、低線量CTという放射線の量を減らした特殊なCTを毎年行うことが新しくおすすめとされました。当院では64列CTという都市の大病院にしかない高性能のCT装置を設置していますので、長年喫煙していたもしくは今も喫煙している方には特におすすめな検査だと思っています。胃癌の検診は50歳以上の方に対し、内視鏡を2-3年ごとにおすすめとされています。大腸癌の検診は毎年の便潜血か内視鏡を3-10年ごとにおすすめとされています。当院では今年度内視鏡のカメラやモニターなどのシステムを最新の物に買い替えることが決まりました。まだ納入時期は明らかになっておりませんが、胃カメラも大腸カメラもみなさんの負担が軽くなるのが確実です。ぜひ検査を受けることを検討していただきたいと思います。

胸部CT検査、肺機能検査  11,000円(税込)

胃カメラ検査  15,400円(税込)
ピロリ菌検査 (オプション) 2,200円(税込)

大腸カメラ  19,800円(税込)

大腸・胃・肺
3点同時に行う場合
2,000円
割引します

新型コロナウイルスワクチン接種について

現在診療所ではワクチンの個別接種を行っており、クーポンをお持ちの方を対象に平日の15:00から17:00までFAXもしくはお電話にて随時予約を受け付けております。11月9日以降の新規の予約受け付けは現時点で未定となっておりますので、接種をお考えでまだお申込みをしていない方はお早めに予約をお願いいたします。なお、役場の集団接種との重複予約は御遠慮ください。

またクーポンをお持ちの小学6年生で接種希望の方は、役場の集団接種では受付しておりません。診療所での個別接種となりますので予約をお待ちしております(保護者同伴となります)。

なお、PCR検査で陽性だった方につきましては、症状消失後一定期間をあけてからの接種となりますのでご了承願います。詳しくはお問い合わせ下さい。

初期研修医の受け入れ

10月4日から11月28日まで研修医が診療所に勤務します。

羅臼町の皆様、初めまして。2ヶ月間診療所にてお世話になります、2年目の塩川絹恵と申します。

出身は神奈川県で、昨年北海道に引っ越して来ました。北の大地での生活は新鮮なことばかりで、羅臼町での研修もとても楽しみにしております。

町の楽しみ方などをご教示いただけたらと思いますので気軽にお声がけください。まだまだひよっこですが、誠意を持って診療出来るよう努めていきますので何卒温かい目で見守っていただけたらと思います。



～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 Tel.87-2116



～らうすぽに新しい遊具が来ました!～

らうすぽ（羅臼町民体育館）の1階にあるプレイルームに、新しい遊具が来ました！ボルダリングウォールという、突起の部分に手足を掛けクライミングを楽しむものです。この遊具は株式会社村田呉服店からご寄贈いただきました。プレイルームにはボルダリングウォールの他に大型トランポリンなど様々な遊具がありますので、ぜひご利用ください！

▼ボルダリングウォール



▼大型トランポリン



～ランニングマシンを設置しました!～

らうすぽ（羅臼町民体育館）1階にあるトレーニングルームに、新たに2台ランニングマシンを設置しました！1つは山下明久様からご寄贈いただき、もう1つはスポーツ振興くじ助成金を受けて設置しました。現在トレーニングルームには新たに加わった2台と合わせて3台のランニングマシンがあります。定脈拍トレーニングなど様々なトレーニングや機能がありますので、コロナ禍における運動不足解消として、ぜひご利用ください！

▼山下様からご寄贈いただいたランニングマシン



▼スポーツ振興くじ助成金を受けて設置したランニングマシン



夏の寺小屋kids無事終了!



運動プログラム



読み聞かせ



調理体験



絵本作り

8月3～6日、らうすぽにて夏の寺小屋kidsを開催しました。

2年ぶりの開催となった今回は、マスク着用やこまめな換気など感染防止対策を徹底したうえで実施しました。

プログラムは、運動や勉強、読書、読み聞かせ、調理体験、絵本作りと盛りだくさん。最終日には、今回のテーマである「おべんと」づくりにもチャレンジしました。また絵本作りでは、テーマの「おべんと」にちなんだ自分だけの絵本を完成させることができました。

子ども達の見守りや読み聞かせ、絵本作りなど様々な場面で町民有志のボランティアの方々の協力がありました。無事に終了することができました。

ありがとうございました!

**図書館と羅臼町地域包括支援センターが連携！
認知症について正しく理解していただけますか？**



オススメの1冊



『よくわかる認知症
早期発見から介護まで』
著者：川畑信也
出版社：日本実業出版社

9月は世界アルツハイマー月間、そして9月21日は世界アルツハイマーデーです。

図書館では、羅臼町地域包括支援センターと連携した展示を実施しています。

今回は、貸出可能な認知症に関する本を揃えて、地域包括支援センター提供のパンフレット等と一緒に展示します。この機会にぜひ一読ください。展示期間は10月中旬ごろまでの予定です。

図書館HPでは、今回の展示資料をまとめたブックリストを公開しています。

本の貸出やリクエストについては、お気軽にご相談ください。

図書館HPへはこちらから



【問い合わせ】

羅臼町図書館

TEL 87-2004

FAX 87-2256

地震と津波に備えましょう

令和2年4月に国が「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」を公表したことを受け、北海道より令和3年7月19日に羅臼町を含む太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合の津波の高さと浸水域などを示した「津波浸水想定」が設定・公表されました。改めて、地震発生時や津波の恐れがある場合に必要な準備について確認しましょう。

羅臼町の津波の高さや浸水範囲は？

北海道により町内の代表地点数力所の津波想定が公表されており、下記のとおりとなっています。(一部抜粋)

なお、津波浸水想定の設定条件や留意事項など詳しい情報は北海道のホームページよりご確認ください。

○北海道ホームページURL

<https://www.constr-dept-hokkaido.jp/ks/ikb/sbs/tsunami/shinsuisoutei/index2.html>

代表地点名	最大津波高	影響開始時間	第1波到達時間(参考)	最大波到達時間(参考)
相泊漁港付近	1.8m	2分	3分	10分
知円別漁港付近	1.5m	1分	2分	20分
羅臼漁港付近	1.5m	2分	3分	20分
松法漁港付近	1.4m	1分	2分	26分
麻布漁港付近	1.6m	4分	13分	27分
峯浜漁港付近	2.9m	10分	35分	174分

※「影響開始時間」とは地震の影響による地盤沈下に伴い低下した地震発生直後の海面に±20cmの変動が生じるまでの時間であり、津波が沿岸部へ到着する時間と同じではありません。

※浸水域や浸水深・波高は地震による地盤変動や構造物の変化に伴い、想定を超える場合もあり、第2波以降の影響が大きい場合もあります。

※津波は自然現象であり、不確実性が伴うことから、実際は津波浸水想定を超える場合もあります。

ハザードマップを更新予定です

町では北海道の津波浸水想定が設定・公表されたことに伴い、現在のハザードマップを更新予定です。完成後、地震や津波を含め、災害が発生した場合の危険箇所や避難所を改めて町民の皆様にお知らせ致します。

地震・津波が起こったその時は

最大震度が5弱以上と予想される地震は、気象庁が「緊急地震速報」を発表し、テレビやラジオによる速報のほか、携帯電話やスマートフォンに「緊急速報メール」が配信されます。「まず低く、あたまを守り、動かない」を心掛け自分の身は自分で守りましょう。その避難行動が自分や家族の命を守る行動に繋がります。

地震直後、津波の発生が予想される場合「津波注意報」「津波警報」「大津波警報」等が発表されますので、身の危険を感じた場合は、町からの避難情報を待たず、迷わず避難行動をとりましょう。

すみやかに避難をするための準備を

いざという時、すぐに避難するには日ごろから避難時に必要なものをリュックなどに入れて準備し、持出しやすい場所に保管しておくことが大切です。

町では本年1月に感染症対策グッズを入れた「羅臼町防災バッグ」を全世帯へ1セットずつ配布させていただきましたので、食料や飲料水、各ご家庭で特に必要となる物を追加してご活用ください。



いつ起きるか分からない災害。羅臼町も例外ではありません。いつかに備えて準備をすすめましょう。

総務課 防災担当

わたしたちが地域おこし協力隊です

関西人がみた知床・らうす ～初めての羅臼の夏～



羅臼川を覗けば、カラフトマスの背中がユラユラと動いているのが見え、相泊へ向けて走れば、釣り竿を担いだ人々とすれ違う。初めて見る光景ですが、羅臼の季節の変わり目を感じています。

「羅臼の夏はお盆まで」と聞いていたので、8月以降はずっと長袖。家族や友達が遊びに来るときにも「寒いから上着持って来なあかんで！」と忠告していると、どんどん上がっていく気温。力強い日差し。一番場違いな格好をしているのは私でした



…。思いがけず暑い日もあったけど、涼しい日がほとんど。ずっとこんな気温だったら幸せなんですけどね。

羅臼ならではのアクティビティもたくさん経験させていただきました。先端部地区の観音岩までのトレッキングでは、手つかずの大自然を間近に感じることができ、残すべき、守っていくべき遺産であることを実感できました。ヒグマクルーズでは、自然の中で暮らすヒグマの家族に出会い、野生動物のたくましさを目の当たりにしました。羅臼岳登山では、山頂から根室海峡とオホーツク海が見下ろせ、こんな場所まで自分の足で登ったことに驚き、人間の強さも感じました。



羅臼で迎えた初めての夏はとにかく楽しく、学びの多い季節でした。

(企画振興課地域おこし協力隊：佐脇)

「やる気」って存在しないと聞いたことがありますか？

みなさまこんにちは！いかがお過ごしですか？勉強やスポーツに励んだり、お仕事と家のことをする中で「こんなことができるようになりたいな」と掲げている「理想の自分像」に近づくため“英語を始めた！ピアノを始めた！Youtube動画で筋トレ始めた！”方も多いのではないのでしょうか^^



ただですね「今日はやる気ないからいいや～、モチベーションないからいいや～」ってなりませんか？私はいつもやる気なしです（汗）。でも、本当はやりたいんだよ！でもできないんだ！！そんな方に朗報です！やる気が出る方法があるんです！それは、、、「やる気は“やる”と出る！」、、、なんだそれはと思うかもしれませんが、脳には側坐核というのがあって、そこからドーパミンというやる気ホルモンが出ます。手足を動かしたりすると分泌されていくんです！ということで、やる気が出ない時は、まずペンを持つ。一言書いてみる、でジワジワと動き出します。やればやるほどハマるのはこんな仕組みがあったからです^^

ということで、語学教育、おかげさまでメンバーの脳からドーパミンが出る仕組みで順調に進んでおります。引き続きよろしく申し上げます。

(社会教育課地域おこし協力隊：城)

自然を守り自然に守られる暮らし

すっかり涼しくなってきました。涼しい季節が好きなので少しほっとしています。最近映画を見ている方がまるで現実を見ているような不思議な感覚に陥ります。家にいる時間も増え、なかなか思うようにいかないこともありますが、こんなときだからこそ出来ることがあるのだろうなと思い日々過ごしています。本を読む時間も増え、インプットの時期なのかなとも思います。最近では児童書を読むのにはまっています。大人になって改めて読むからわかる奥深さに気が付いてしまいました。特に外国の児童書はこれ子どもが読んでいいの？と思うくらいシュールで奥が深いように感じます。読書・芸術・フルーツ等々、秋の楽しみをひっそり満喫したいです。



(産業創生課地域おこし協力隊：土井)



7月13日(火)

知床未来中学校 全道大会へ

知床未来中学校野球部（標津・川北中合同）、女子バスケットボール部（中標津町広陵中合同）、女子ソフトテニス部の生徒がそれぞれ全道大会の出場を決め、表敬訪問を行いました。

表敬訪問では、生徒達それぞれが全道大会にかける思いを伝え、その中には、全道大会で力を出し切ることはもちろん、これまで支えてくれた家族や周りの方々に対して恩返しをしたいという強い感謝の気持ちを表す生徒もあり、これまでの道のりが目に見えた瞬間でもありました。

全道大会では、女子バスケットボール部、女子ソフトテニス部（団体・個人戦）が1回戦敗退、野球部が2回戦敗退という結果になりましたが、生徒それぞれ全力で戦ってくれました。知床未来中学校の皆さんお疲れ様でした。



7月25日(日)~27日(火)

第38回ふるさと少年探険隊

昨年度中止となったふるさと少年探険隊が、今年は新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、チャレンジ隊のみで実施となりました。

期間中は晴天続きの天気であり、知床岬ではふるさと少年探険隊の目的の一つである夕日を見ることが出来ました。日程やルートなどの変更がありながらも隊員9名、スタッフ18名で協力し合い、無事終了することが出来ました。

隊員からは「短期間ではあったが、とても楽しかった。来年こそは相泊から岬まで歩きたい。」と来年に向けての意気込みをいただきました。





8月1日(日)

SKRスピリッツ全道大会へ

羅臼野球少年団所属SKRスピリッツ（標津・川北・羅臼野球少年団合同）が7月3日～10日に開催された令和3年度第2ステージ（根室支部予選）に出場しました。決勝戦では中標津ジャガーズと対戦し、勝利を収めチーム初優勝を飾り、全道大会出場の切符を手に入れました。

札幌市で実施された第50回全道少年軟式野球大会では、初戦から全力野球を繰り広げ見事勝利。2回戦では、2点差まで詰め寄るも惜しくも敗退という結果になりましたが、SKRスピリッツとして初出場となった全道大会を仲間達と共に経験し、また一つ成長した姿をみせてくれたような気がします。

SKRスピリッツの皆さんお疲れ様でした。



8月4日(水)

世界自然遺産知床の環境保全活動に対して

北海道コカ・コーラボトリング㈱より、知床の環境保全活動に対して215,963円のご寄付をいただきました。

この寄付は、世界自然遺産として登録された知床地区に対する応援事業として、2007年5月より町内に設置している全ての自動販売機の売上の一部をご寄付いただいております。

長年にわたるご厚意ありがとうございます。



8月4日(水)・11日(水)

一人の思いを署名にて結集し、北方領土の返還を

8月の北方領土返還要求運動強調月間に道の駅知床・らうすにて北方領土返還要求署名活動を千島歯舞諸島居住者連盟羅臼支部と合同で実施しました。

コロナ禍ということもあり、例年に比べ大型バスの団体客や個人客も少ない印象を受けましたが、感染予防対策を徹底し、町民の方々の協力をいただきながら2日間の活動を終わりました。



《国民健康保険証の切替はお済みですか?》

・7月に「国民健康保険証」を郵送しております

国民健康保険に加入されている世帯の世帯主の方あてに国民健康保険証を郵送しておりますのでご確認ください。

・国民健康保険税や町税等を滞納している方(世帯)には、保険証は郵送しません

役場にて、納税相談等を行ったあとに交付しますので来庁して下さい。

国民健康保険税の滞納状況等により、保険証の有効期限が短くなっていますので、納税相談を実施してから更新となります。

・「資格証明書」の交付対象者(世帯)は、保険証が発行されません

病院等を受診した場合は、「資格証明書」を提示して、10割負担となります。

10割負担をした領収書を国保係に持参して下さい。7割分の還付の手続きを行い、還付金を税に充当します。

資格証明書は、健康保険証の短期交付の方(世帯)で、納税状況等が悪質だと判断された方(世帯)に交付されます。

【休日窓口・夜間窓口のお知らせ】

9月 ・夜間窓口 9月30日(木) 午後7時まで
10月 ・休日窓口 10月31日(日) 午前9時から午後5時まで
・夜間窓口 10月29日(金) 午後7時まで

〈お問合せ先〉税務財政課 TEL87-2113

宝くじの助成金で備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により共栄町々内会は、コミュニティ活動備品(町内会館備品及び刈払機)を、礼文町南町内会自主防災組織は、防災資機材及び非常用発電機を整備しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる宝くじの受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの社会貢献広報を目的に行われています。

今回の整備によって、町内会での事業実施や集会等での利便性向上が図られ、今後の活動の発展に寄与することが期待されます。



ヒグマの対応状況をお知らせします



対策で重要なツールとなっている、自動撮影カメラで撮影されたヒグマ（7/23撮影）

飼い犬に被害をもたらしたヒグマについては、7月27日に糞からDNAが確認されて以降、9月13日現在まで確認されておりません。引き続き捕獲対象の最優先個体として活動しております。詳細については1月に予定している1年間のまとめでお知らせします。

7月、8月のヒグマ対応状況

◆対応件数119件（前年度89件）

- ◇ほとんどの町内会で出没。外に置かれたごみが持ち去られた事例もあった
- ◇オートキャンプ場がヒグマの頻繁な出没で一時間閉鎖。周辺に電気柵を設置後に再開

7月、8月のヒグマ駆除状況

◆駆除件数5件（前年度3件）

- ◇海岸町で水産加工場の倉庫に侵入し、倉庫内の魚を食害。1頭を駆除
- ◇住宅のある地域で追い払い後も頻繁に出没したなどで4頭を駆除（峯浜町、春日町、海岸町、岬町）

ヒグマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などヒグマが届かない場所に干す、ごみは収集時間の直前に出すなど、皆様のご協力をお願いします。
- 今年も燃やせるごみを野外に置いて、ヒグマに持ち去られるという事例がありました。ヒグマが一度ごみや干し魚の味を覚えてしまうと、周辺の住民も含めて危険になります。

24時間対応

ヒグマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、産業創生課（87-2126）までご連絡下さい。

会員募集 !!

札幌らうす会、東京らうす会

『札幌らうす会』『東京らうす会』は、各地域に住む羅臼町出身者や羅臼町を応援していただけの方で構成され、生まれ育った羅臼を応援したい、羅臼の方達と交流を図りたいとの思いから、各イベントでのPR活動や交流会など様々な活動に取り組まれています。

近年は、羅臼町からどなたが移住してきているのか分からないため、お声掛けもできず会員不足に悩まされており、事業の実施が厳しくなっています。

皆様のご家族やご友人で札幌・東京近郊にお住まいの方がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介いただき羅臼を応援する『らうす会』の輪を広めていただけませんか。

また、両会と連携する地域の組織として『故郷らうす協ふるさと力会』も広報の送付や各会の総会へ参加し交流・情報交換などの活動をしています。故郷らうす協ふるさと力会へもぜひご参加いただければと思います。

ご紹介いただける場合は、各会へ直接ご連絡いただくか、産業創生課（故郷らうす協ふるさと力会）でも受け付けておりますので、気兼ねなくご連絡ください。

《お問い合わせ先》

●札幌らうす会 事務局
sapporo_rausukai@yahoo.co.jp

●東京らうす会 事務局
rausu@tokyo-rausu.jp

●故郷らうす協ふるさと力会 事務局
産業創生課 TEL:0153-87-2126

おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(令和3年7月11日〜令和3年9月10日受付分掲載)

北海道コカ・コーラボトリング(株) 様

【暮らせる快適なまちに関する事業】

【自然環境に配慮し安心安全に】

知床・羅臼まちづくり基金

寄付・寄贈ありがとうございました

町長室



『ゼロカーボンシティ宣言』

コロナ禍で私たちの生活は一変してしまいましたが、一方で近年の地球温暖化によるものと思われる自然災害や生態系への影響が世界各地で起こっています。

日本でも、大雨による河川の氾濫や土砂崩れなどが多発して多くの被害者がでております。

地球温暖化は、災害だけではなく海水温上昇による不漁や魚種変換を引き起こし、その影響は羅臼町にとって死活問題となってしまう。これからの私たちは、将来の子ども達のため自分でできる範囲の中で地球にやさしい行動や生活をしていくことが大切です。

羅臼町は、「ゼロカーボンシティ宣言」をし、この豊かな自然と資源を持続可能な形で将来につなげていこうとしています。

いよいよ秋の漁が始まります。事故なく大漁であることを心より願っています。

人の動き

令和3年8月末現在 ()内は令和3年7月末対比

人口 4,593人 (- 8) 男 2,293人 (- 3)
世帯 2,026世帯 (- 5) 女 2,300人 (- 5)

編集後記

羅臼の短い夏が終わり、肌寒い日が続いていますね。

8月中旬に知床峠を通過した際、頂上の駐車場には、数台の車と外に出て夜空を見上げる人が数人いました。今日は星がよく見えるのかな〜と特に気にも留めず帰宅しましたが、その日は流星群が観察できたようです。次の日に気付いた私は、惜しいことをしてしまったと後悔。流星群以外の日も知床峠から眺める星は、キレイで感動を与えてくれます。空気が澄んだ夜にドライブに出かけてみてはどうでしょうか。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りを持ち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 令和3年9月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<https://www.rausu-town.jp/>